

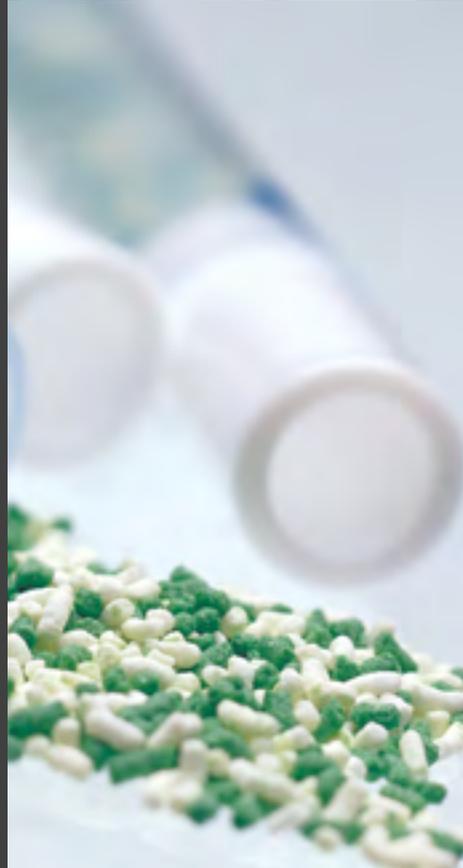
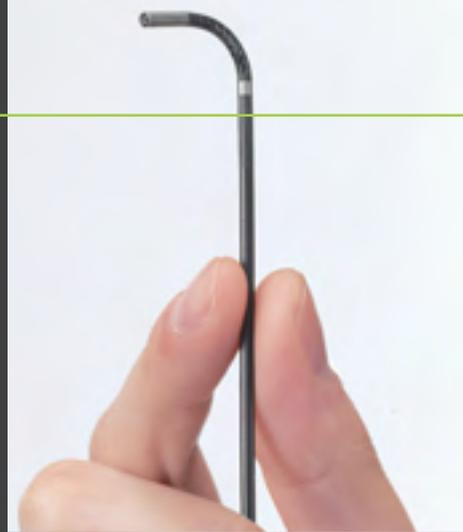
LIFE SCIENCE AND INDUSTRIAL BUSINESS

ライフ・産業事業



ライフサイエンス分野では、脳メカニズムの解明、がんの発生や転移機構、薬の作用や免疫機構など次世代医療の実現に向けた動きが盛んです。これらの研究にオリンパスは生体内の分子の動きや作用を可視化する「バイオイメーキング」技術で応えています。そのほか、理科・科学教育や、病院・病理、食品、農業分野など、オリンパスの高精度の顕微鏡技術が広く社会に貢献しています。

産業機器分野では、非破壊検査の領域では、工業用内視鏡、超音波探傷器、渦流探傷器、X線分析装置により、社会インフラの安心と安全を支えるとともに、研究開発、生産現場の品質向上に貢献しています。工業用顕微鏡では、電子部品や半導体の実装技術の高密度化に対応する厳密な観察・測定・管理の重要性の高まりを背景に、多様なニーズに応えています。





Main Products

ライフサイエンス分野

正立顕微鏡・偏光顕微鏡/倒立顕微鏡/共焦点レーザー顕微鏡/ボックス型蛍光撮像装置/実体顕微鏡/マクロ蛍光顕微鏡/顕微鏡用カメラ/イメージングソフトウェア/バイオイメージングシステム/バーチャルスライド



生物顕微鏡「BX3シリーズ」

産業機器分野

金属顕微鏡/半導体検査顕微鏡/液晶基板検査顕微鏡/レーザー顕微鏡/測定顕微鏡/微小三次元測定装置/周辺機器/工業用ビデオスコープ/工業用ファイバースコープ/工業用硬性鏡/周辺機器/超音波探傷器/渦流探傷器/フェイズドアレイ探傷器/X線分析装置



工業用顕微鏡「LEXT OLS4000」



超音波探傷器「OmniScan MX2」



ライフ・産業事業グループ
プレジデント

西垣 晋一

LIFE SCIENCE AND INDUSTRIAL
BUSINESS

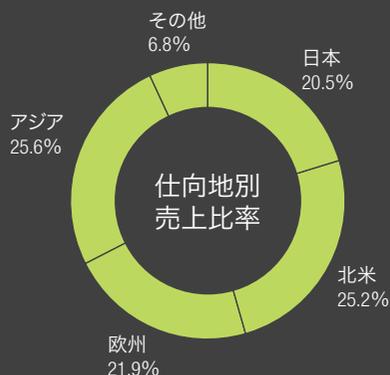
ライフ・産業事業

連結売上高

924億円

連結営業利益

54億円



(2012年3月期末実績)

2012年3月期の業績と取り組み

2011年3月にインクジェットプリンター事業を譲渡したことや、為替および東日本大震災の影響等により、通期の連結業績は前期比で減収・減益となりましたが、これら特殊要因を除く実質ベースでは、増収・増益と安定して推移しました。

産業機器分野では、社会の安全・安心に貢献する超音波非破壊検査機器や、シリーズ最小・最軽量を実現した工業用ビデオスコープの新製品が売上を伸ばしたほか、電子部品や半導体関連市場の活況により工業用顕微鏡や光学測定装置等の製品が好調に推移し、増収となりました。

新製品の状況

産業機器分野では、工業用顕微鏡と工業用内視鏡において新製品を投入し、今後の収益への寄与を図ります。

工業用顕微鏡では、業界初となる光学技術とデジタル技術を融合した「オプトデジタルマイクロスコープ・DSXシリーズ」を2012年1月に発売しました。

工業用内視鏡では、当社初のハンディタイプ「IPLEX UltraLite (アイプレックス・ウルトラライト)」を2012年1月に発売しました。

売上高 (億円)

■ ライフサイエンス
■ 産業機器

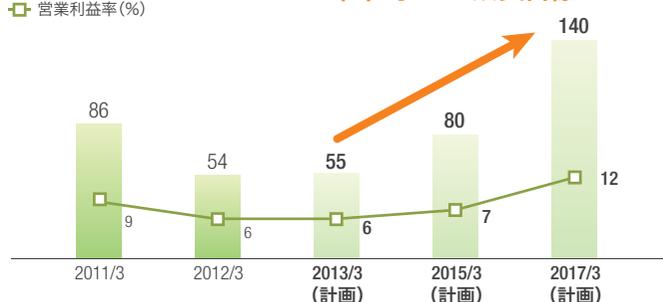
年平均5%成長目標



営業利益/営業利益率

■ 営業利益 (億円)
□ 営業利益率 (%)

年平均21%成長目標



中期ビジョンにおける事業戦略

ライフサイエンス分野
▶ 光学技術のドライバー
産業機器分野
▶ 成長のドライバー

ライフ・産業事業を取り巻く環境

ライフサイエンス分野においては、生物顕微鏡は成熟市場での安定成長が見込まれる一方で、成長著しい新興国では堅調な成長が期待されています。ライフサイエンス分野は光学技術のドライバーですが、これは創業の時代より顕微鏡のレンズ技術を中心に、写真レンズや医療用内視鏡など生産技術へと応用しているからです。

産業機器分野では、世界の半導体・電子部品市場はスマートフォンなどの新規市場創出や、エコ分野の開発投資増加などに伴い、今後も工業用顕微鏡は堅調な拡大が見込まれます。また、航空機や自動車などの市場は新興国を中心とした好調な需要を背景に、工業用内視鏡・非破壊検査装置の堅調な推移が見込まれます。

オリンパスは、このように業界をリードする技術開発力と高いシェアを強みに、社会にも貢献する差別化された新製品を継続的に導入し、さらなる成長を目指します。

基本方針

1

プロダクトポートフォリオの積極拡大

産業機器分野では、従来から業界をリードする工業用顕微鏡や工業用内視鏡、超音波・渦流探傷機器に加えて、2010年には携帯型蛍光X線分析装置の事業領域を強化・拡大し、着実に収益への寄与を実現してきました。今後も、まだ手がけていない成長領域に積極的に進出し、高付加価値の商品を手がけることで、確実に収益力向上につなげていきます。

基本方針

2

高コスト体質見直しによる収益構造の抜本的改革

商品力の強化に加えて、生産構造の改革と業務効率の改善が重要なポイントとなります。具体的には、フィリピンの製造拠点を閉鎖し中国の工場へ移管するなど、生産拠点の見直しによる製造原価低減、調達グローバルコントロールやグループの既存インフラの共有活用等により販管費を削減し、収益構造の改革を行います。この取り組みにより、ライフ・産業事業における3年後の売上原価率は1ポイント改善、販管費比率は2ポイントの改善を見込んでいます。

基本方針

3

新興国市場におけるシェア拡大

中国・インドを中心とした成長著しい新興国市場では、特に高い成長を目指しています。具体的には、中国における営業人員の育成・増強および、インドにおける販売網拡充・サービス拡充等による売上拡大を図ります。欧米や日本などの成熟市場では高シェアを確保しながら安定成長を図ると同時に、新興国での売上拡大による収益改善を目指します。

今後の収益ドライバーとなる新製品を続々投入

2012年1月、工業用顕微鏡と工業用内視鏡の戦略新製品を発売

工業用顕微鏡「オプトデジタルマイクロコープ・DSXシリーズ」

顕微鏡の操作に詳しくなくても、誰でも簡単にタッチパネル操作で最適な画像を得て、測定、レポート作成までを1台で可能としています。使いやすさと性能の高さから、自然科学の研究分野等さらなる用途拡大を期待しています。



工業用内視鏡(ビデオスコープ)

「IPLEX UltraLite (アイプレックス・ウルトラライト)」

長時間持ちながらの検査でも疲れを感じにくいユニークなデザインと、シリーズ最小・最軽量ながら上位機種並みの画質と耐久性を備えている点が特長です。IPLEXシリーズは、プラント内部や火力・原子力発電所等の配管の検査に幅広く利用されており、今後も暮らしの安全と安心への貢献を目指します。



2012年7月、生物顕微鏡と工業用内視鏡の戦略新製品を発売

ライフサイエンス分野

生物顕微鏡の主力商品「IX3シリーズ」

生命科学・医学の研究分野でのニーズに応え、快適な操作性に加えて、生きた細胞を培養しながら観察できる高度な観察を実現しました。



産業機器分野

世界最細の湾曲機構付の工業用内視鏡(ビデオスコープ)「IPLEX TX」

自動車をはじめ、様々な分野で部品や金型の精密化が進む中、スコープの細さに加え、画質や耐久性の向上を図った世界最細の直径2.4mmを実現しました。

